

出張健診用の小屋建設（ンジョブ村）：130,463円

これまで青空の下で行われていた月1回の出張健診（乳幼児健診、妊婦健診など）。受診に来るお母さんと子どもにとって、出張健診がもっと快適に行われるようにとの目的で建設が進められています。



着々と建設が進む。

青空の下、行われている出張健診。

橋の建設（NPO法人道普請人/京都大学との連携）

昨年8月下旬から建設作業開始。いまでは人や自転車が、雨期で川が増水しても渡れるようになりました。雨期に入ったため、作業は一時中断。今年の6月に再開し、車が通れる橋にしています。



完成直後の橋。

雨期になると、一気に増水します。この写真の川の水の深さは大人の胸くらい。

学費支援へのご協力をお願いします！！

ザンビアの学校は1月始まり。新たに8年生に進学してきた学生たちの中から、現在候補者を選定中です。が！！学費がなんと2014年は5400円だったのですが8000円へと急激な値上がり。このままでは、継続支援が約束されている新9年生の支援にほとんどのご寄付がいきまじ、新8年生の支援が非常に限られたものになってしまいます。経済的に困難でも、勉強をがんばっている子どもたちが、引き続き教育を受けられるよう、1口以上のご寄付をどうかよろしく願いいたします。

1口 3,000円

※うち約1割を管理費（生徒の選出や家庭状況の確認等学校側との打ち合わせにかかるスタッフ人件費、ガソリン代等）とさせていただきます。

3口で1人の生徒が学校に通えるようになります。

2口以上ご寄付いただきますと奨学生からお礼状が届きます。



「学費支援」とご指定の上、ご寄付ください。ご寄付の方法は巻末のページでご案内しています。

猫回線



最近、ザンビア事務所にやってきたインターンに、「社長」と呼ばれている猫のチャイです。スタッフの中で一番「出勤」が遅いからだと彼女は言いますが、それはともかく。

ザンビアではつい先日、国の長を決める大統領選挙(※)が行われ、与党PF（愛国戦線）のエドガー・ルング氏が接戦を制

し、当選しました。選挙期間中は、選挙カーならぬミニバスに、うぐいす嬢ならぬ体力のありあまった男たちが乗り込み、旗を振りまわしながら大きな音を立てて車道を走りまわったり、選挙公約を様々な歌手たちが歌にし、それらの歌が集められたCDが売っていたり。

でもご主人が一番びっくりしたのは、投票日がたった1日しか設けられていないこと。そして、その日は従業員を全員投票に行けるように雇用主は配慮せよ、という政府からのお達しが出されたことでした。

選挙というのは少なからず自分や自分の家族、将来の子どもたちの未来を選ぶということで、その権利を守ることは国として大事なことでご主人は言っていました。社会環境に猫の生活だって影響されるのですが、私にその権利はありません。

ルングさん、誰にとっても住みやすい社会にしてくださいね。ニャー。

※2014年10月に任期途中で急逝したサタ大統領の補欠選挙で、今回選ばれたルング氏の任期はわずか18か月。2016年に再度、大統領選が行われる。